

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員等資質向上研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

### 県北会場

#### 科目 ①障害児の支援 インクルーシブマインド ～今必要なインクルーシブ教育とは～

- ◆ 今回の研修で、インクルーシブマインドという言葉を知りました。子どもが居心地がいいと感じるには様々な配慮が必要だと改めて感じることができました。その中でも私が一番共感したところは、子どもを叱るときは対話をするということです。感情的に叱ってしまうこともあるので、子どもの言い分を聞いてあげて、ただ教えるのではなく、子ども自身が自分で気づき、改善していけるように、私たちが手助けしていくことが大事だと思いました。
- ◆ 常に誰かを攻撃したり仲間はずれにしたり、他の子の会話に割り込んで輪の中心になろうとする子がいます。注意をするのですが「ハイ」というだけで反省している様子が見られず、注意の仕方に悩んでいました。以前保護者からいじめられていたことがあると聞いていたのですが「だったらなぜ？」と疑問でした。講義を聞いて、トラウマの影響だと納得できました。子どもと向き合い対話をし、子どもとの信頼関係を築けるよう努力したいと思いました。
- ◆ 今回、インクルーシブマインドのお話を聞いて、ちょっとした自分のトラウマが子どもたちへのトラウマにつながるということが分かりました。トラウマによって、「みんながやっているから」と自分を正当化し、悪かったと思えなくなるということも理解できたと思います。こどもたちとコミュニケーションをたくさんとり、トラウマを取り除いてあげられたらいいなと思いました。
- ◆ インクルーシブマインドの核が人間理解であることを学びました。また、自己理解も重要であり、トラウマの形成は、感情のコントロールがうまくできず、ストレスを生み出しているということが理解できました。ストレスの発散法を知ることや私たちが、トラウマを作らせない専門的な関わり、対話を大事にしながら子どもの幸せを考え、居心地の良い居場所をつくりあげたいと感じました。また、励ます声のかけ方、気づく・気づかせる方法等、自分自身のスキルアップの必要性を感じました。
- ◆ 児童の心の中にトラウマを作らせないためには指導者自身の自己理解が必要という視点は新しい気づきでした。自身のトラウマや偏見を克服し、子どもたちの声を聞き、気持ちに寄り添えるように努めたいと思います。頭在学习と潜在学习に関しては、日々意識するようにしていますが、本科目でも改めて学べて良かったです。子どもに伝えたいことがあるときほど表情や語調は大切であり、内容も教えるのではなく、気づかせるように気をつけたいです。